

平成 30 年度

第 1 回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 平成 30 年 8 月 31 日(金)10:00～12:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 9 名
平野吾郎会長 小杉達副会長 芹澤拙夫委員
増田千次郎委員 鈴木敬雄委員 坪井俊三委員
加藤理文委員 中山正典委員 西田かほる委員
事務局 8 名
村松教育長・秋野教育部長・高梨文化財課長・村松課長補佐
兼管理グループ長・木村歴史文書館長・竹内主幹兼調査グループ長・佐口主査・谷口主任
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事

【審議事項】

①豊岡の遠州大念仏指定について

[事務局からの説明]

- ・平成 28 年、29 年度二ヵ年かけて、文化庁の文化遺産総合活用事業として、遠州大念仏の映像記録を行い DVD を作成した。
- ・中山委員から報告書が提出され、豊岡の遠州大念仏の無形民俗文化財としての価値を評価していただいた。
- ・磐田市指定無形民俗文化財として指定してよいか、審議をしていただきたい。

[主な質問・意見]

- ・全国的に類例はあるのか？

→三遠南信に同系統の念仏踊りが分布しているが、双盤を鳴らして激しく「太鼓きり」を行う大念仏は、遠州地方にしかない。

- ・中世の念仏踊りの伝統は、どの所作に見られるか？広まるのは三方原の戦い以降江戸時代になってからだと思うが。

→念仏が全国に広まるのは中世。直接どの所作が中世の伝統とは言えないが、三方原の戦い以降、初盆供養と同時に太鼓や双盤を使いみんなで踊って楽しむ大念仏になっていった。

- ・豊岡の遠州大念仏を磐田市無形民俗文化財に指定する答申書が提出された。